

# バイオマーカーで食品を評価する ～機能性食品の開発最前線～

日時 2006年3月31日(金) 午後1時～5時20分  
会場 明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23

## I. 機能性食品の有用性の評価

【13:00～14:00】

1. 機能性食品の必要性
2. なぜ評価法が必要か
3. どのような評価法を用いるか
4. 機能性食品の現状と問題点
5. 今後の展望

京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体機能制御学 教授 吉川 敏一 氏

## II. 疾病予防バイオマーカーとバイオマーカーサイエンスが目指すところ 【14:05～15:05】

人生100年の時代を迎えるにあたり、本格的な高齢化社会を迎えようとしています。『高齢化＝医療費の高騰』という方程式は高齢化に伴って病気が増えるという前提にあります。病気にならなければ医療費は発生しません。私たちは若いときからどの様に生活をすればよいのか、また、どのような手段で未病の状態 で病気のリスクをチェックできるかという可能性についてお話しします。

1. 現状の医療費と高齢化社会のかかえる問題点
2. バイオマーカーサイエンスの活動と企業理念
3. 異常加齢チェックとアンチエイジングドック
4. 疾病リスクバイオマーカー探索

(株)バイオマーカーサイエンス 代表取締役社長 西川 浩司 氏

## III. サントリーの機能性食品素材開発の現状と今後

【15:15～16:15】

本格的な高齢化社会を迎え、ますます健康食品に対する期待が高まっている。その期待を裏切らない機能性食品とはどんなものか、またそれはどのように開発したら良いかを、弊社のこれまでの取り組みから紹介するとともに、今後の新たな取り組みについても紹介する。

1. 「品質保持」から「健康維持」へ
2. セサミンおよびアラキドン酸の開発
3. ニュートリゲノミクスを利用した新たな展開
4. 機能性食品素材開発の今後

サントリー(株) 健康科学研究所 所長 木曾 良信 氏

## IV. 高齢者に対応した食品の栄養と機能

【16:20～17:20】

高齢者に必要な栄養と機能を合わせ持つ食品と食素材をそれぞれひとつずつ紹介したい。食後高血糖を予防する食品としてすでに市販されている機能性流動食と、抗炎症効果を持つ素材として活用できる乳タンパク質から製造したペプチドである。これら食品と食素材の機能を生体で検証した上で、遺伝子等のバイオマーカーを指標に解析した結果を解説する。

1. 高齢者が必要な食品の栄養と機能
2. 食後高血糖と炎症
3. 食後高血糖に対応した食品
4. 抗炎症効果を持つ食素材
5. 生体での機能の検証
6. バイオマーカーによる機能の評価

明治乳業(株) 食機能科学研究所 部長 佐々木 一 氏

**PROFILE 吉川 敏一(よしかわ としかず)氏**

1973年 京都府立医科大学卒業/1981年 京都府立医科大学第一内科学教室助手/1984年 米国ルイジアナ州立大学客員教授/1993年 東京大学先端科学技術研究センター客員教授/1995年 京都府立医科大学第一内科学教室助教/2000年 現職

【主な著書】「よくわかる最新版ビタミンブック-この症状に、このビタミン」(主婦の友社)、「続フリーラジカル入門」(先端医学社)、「フリーラジカルの科学」(講談社サイエンティフィク)、「フリーラジカルの医学」(診断と治療社)、「活性酸素・フリーラジカルのすべて」(丸善株式会社)

【学会等】日本フリーラジカル学会(SFRR Japan)理事長、日本過酸化脂質・フリーラジカル学会会長、日本抗加齢医学会副理事長、日本予防医学会副理事長、日本炎症再生医学会理事、日本ショック学会理事、日本内科学会評議員、日本消化器病学会評議員、日本老年医学会評議員、日本リウマチ学会評議員、日本ビタミン学会評議員

**PROFILE 西川 浩司(にしかわ こうじ)氏**

1980年 大阪薬科大学薬学部製薬学科卒業

1980年 小野薬品工業(株)入社

1993年 同 京都支店新薬部長

1995年 同 大阪支店新薬1部長

2002年 同 札幌支店長

2004年 同 本社新薬推進部次長

2005年 現職

**PROFILE 木曾 良信(きそ よしのぶ)氏**

1978年 東京薬科大学卒業

1983年 東北大学大学院薬学研究科修了後、同大学薬学部助手。薬学博士

1986年～1987年 イスラエル工科大学生物化学部客員研究員

1989年 サントリー(株)入社。生物医学研究所、基礎研究所を経て、

2002年 現職

専門は生化学、薬理学、栄養学。研究テーマは、機能性素材の開発と効能研究で、赤ワイン、セサミン、フラバンジェノールなどのポリフェノールの抗酸化作用と各種効能に関する研究など。

【学会等】日本生化学会、日本農芸化学会、日本栄養食糧学会、日本薬理学会、日本生薬学会等

**PROFILE 佐々木 一(ささき はじめ)氏**

1976年 山形大学理学部卒業

1979年 名古屋大学理学研究科修士号

1979年 スタンフォード大学生命科学部留学

1983年 名古屋大学理学研究科修士号

1983年 スタンフォード大学生命科学部研究員

1985年 (財)発生生殖生物学研究所、(株)バイオ科学研究所研究員

1992年 明治乳業(株)、現在に至る

**お客様の個人情報の保護と取り扱いについて**

1. 当社は、お客様からご提供いただいた個人情報を、下記の目的にのみ使用します。

(1)当社主催のセミナー・シンポジウム・イベント等(以下セミナー等)の情報提供及び運営管理 (2)企業・協会・団体等が主催し、当社が事務局又は後援・協力するセミナー等の情報提供及び運営管理 (3)当社が取り扱う調査資料等の情報の提供及び販売管理 (4) 当社の実施する調査・研究への協力依頼、並びに各種サービス等に関する情報提供 (5) 第三者提供 お客様よりお申込みいただいたセミナー内容を向上させる目的のために、当該講師から要請があった場合、貴社名と個人名などの提供を行います。(6)個人情報の委託 調査資料の発送及び情報の入力等のために協力会社と提携して業務を行う場合に協力会社へ提供を行います。この場合、協力会社に対しても適切な管理を行います。(7)その他、上記に関わるご意見・ご要望等への対応

2. 当社は、下記の場合を除きお客様からご提供いただいた個人情報を、第三者に開示又は提供致しません。

(1)お客様の同意がある場合 (2)法令に基づく場合 (3)人の生命・身体又は財産の保護のために必要であって、お客様の同意を得ることが困難な場合

●受講料 1名につき 29,800円(消費税込)

●お申込方法 「お客様の個人情報の保護と取り扱いについて」に同意の上、お申込フォームにご記入いただきFAXでお申込み下さい。折り返し、受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。

●お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。

3月31日(金)		「バイオマーカーで食品を評価する」		申込日	月	日
貴社名						
所在地	〒					
TEL	( )	—	FAX	( )	—	
E-mail						
氏名	所属部署・役職					

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

**■ 主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所 ■**

〒105-0003 港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル11階

Tel:03-5532-8850/Fax:03-5532-8851/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:http://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 06088-S